

St. Luke's International University Repository

第13回聖路加看護学会総会および学術大会案内

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2021-03-12 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 杉本, 正子 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10285/2705

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



ご 案 内

第 13 回聖路加看護学会学術大会

学術大会長 杉本 正子 (東邦大学)

今回は、メインテーマを『死生観を育む』にしました。

人も他の生物と同様に、生まれそして死んでいきます。寿命は程度の差はありますが、死は誰にも訪れるものです。看護に携わる人々にとっては、生や死は一般の人々よりも身近なこととして受け止めていることでしょう。病院で闘病されている患者さんや地域の訪問看護の利用者さん、そして家族や友人たちの闘病や死から、私たち看護者はさまざまなことを教えられます。なぜ人は生きるのか、そして死ぬのか、根源的なこの命題について、それぞれの立場から一緒に考える機会としたいと思います。

プログラムの会長講演「生の延長線にある死に向けて(仮)」では、終末期や死に向かう人々に対して看護職としてできること、そして今回は従来のお坊さん像とは全く異なる行動的で地域(国内外を問わず)に根ざした活動を実践されている信州松本の神宮寺ご住職の高橋卓志氏の特別講演を企画しました。その他、温灸、ホメオパシー、カラーセラピーなどの代替療法の交流集会など、深刻になりそうな本テーマを明るく検討していきたいと思います。

会員の皆様には、日ごろの研究、活動成果を、一般演題(口演・示説)、事例検討、交流集会でぜひ発表していただきたいと思います。皆様にとって明日につながる機会としたいと思います。ぜひ多数の皆様のご参加をいただきたく、よろしくお願いいたします。

記

1. 日 時 : 2008年9月27日(土) 10:00~17:00
2. 会 場 : 聖路加看護大学 東京都中央区明石町10-1
3. メインテーマ: 「死生観を育む」
4. プログラム : 会長講演: 「生の延長線にある死に向けて(仮)」
特別講演: 「生きること、死ぬこと(仮)」 神宮寺住職 高橋卓志氏
一般演題(口演・示説)、事例検討、交流集会
5. 一般演題等募集要項
 - 1) 申し込み資格
演題を申し込まれる方は、共同研究者も含めて本学会の会員、または入会手続き中の方であることを要します。注) 演題は未発表のものに限ります。
 - 2) 演題申し込み方法
<演題登録>: 2008年3月24日(月)~4月21日(月)
<抄録原稿>: 2008年3月24日(月)~5月19日(月)
演題申し込みはすべて電子投稿(オンライン)のみと致しました。
<演題申し込み先>
聖路加看護学会 HP: <http://slnr.umin.jp/index.html>の、第13回聖路加看護学会学術大会のお知らせ【演題申込】で行ってください。

3)発表形式

<一般演題>研究発表(口演・示説), 実践報告(口演・示説): 発表10分, 質疑応答5分(予定)

<事例検討>持ち時間40分(予定)

<交流集会>参加者と共有したい話題, 興味深い題材を提供する気さくなコーナーです。展示はもとより実験・体験も大歓迎です。ブースを用意します。約30分(予定)。

一般演題については査読を行います。発表には, PCプロジェクターが使用できる予定です。当日の配付資料がある場合は, 発表者が準備してください。

6. 学会参加について

<申し込み方法>

参加費の払い込みは, 1人1枚で, **2008年8月8日(金)までに**済ませてください。可能な限り事前申し込みをお願い致します。

<学会員> 3,500円(当日参加 4,000円)

<学会員> (大学院生) 2,500円(当日参加 3,000円)

<非学会員> (大学院生含む) 4,500円(当日参加 5,000円)

<学部生> 2,000円(当日参加 2,000円)

郵便振り込み先	
口座番号	00170-6-687484
加入者名	第13回聖路加看護学会学術大会

郵便振込票をもって, 領収書にかえさせていただきます。聖路加看護学会への入会, 年会費の払い込みに関しては, 聖路加看護学会本部*までお問い合わせください。

注) 学術大会申し込みと, 聖路加看護学会への入会, 年会費の払い込み先は異なりますのでお間違いのないようお願い致します。

* 学会本部 連絡先: 〒104-0044 東京都中央区明石町10-1 聖路加看護大学内

TEL: 03(3443)6391 / FAX: 03(5565)1626

HP: <http://slnr.umin.jp/index.html>

7. その他

館内に昼食施設はありません。近隣のレストラン等をマップでご紹介します。

なお, プログラムはあらかじめ送付しますが, 講演集は学術大会当日お配りします。

8. 学術大会事務局

〒143-0015 東京都大田区大森西4丁目16-20

東邦大学医学部看護学科 美ノ谷研究室内

第13回聖路加看護学会学術大会 事務局 宛

お問い合わせ先 学術大会事務局 FAX: 03-3766-3914

e-mail: luka@med.toho-u.ac.jp

聖路加看護学会学術大会

回	日 程	テ ー マ	開 催 地	学術大会長
1	1996年9月15日(土)	建学の精神と具現化と軌跡	聖路加看護大学 東京	常葉 恵子 聖路加看護大学
2	1997年9月27日(土)	実践重視の看護の創造	聖路加看護大学 東京	飯田澄美子 聖路加看護大学
3	1998年10月3日(土)	実践の質を高める看護教育を求めて	聖路加看護大学 東京	藤枝 知子 東京女子医科大学
4	1999年9月25日(土)	ユニフィケーションの方向性を探って	聖路加看護大学 東京	小松美穂子 茨城県立医療大学
5	2000年10月7日(土)	在宅看護の源流と未来	大阪府看護協会会館 ナーシングアート大阪 大阪	氏家 幸子 大阪大学
6	2001年9月29日(土)	「からだ」のわかる看護の探求	聖路加看護大学 東京	菱沼 典子 聖路加看護大学
7	2002年9月28日(土)	看護と文学	聖路加看護大学 東京	井部 俊子 聖路加国際病院
8	2003年9月27日(土)	看護の“知”と哲学的基盤	聖路加看護大学 東京	中山 洋子 福島県立医科大学
9	2004年9月25日(土)	実践の“智”を築く	聖路加看護大学 東京	平野かよ子 国立保健医療科学院
10	2005年9月24日(土)	生涯発達と看護	聖路加看護大学 東京	小澤 道子 聖路加看護大学
11	2006年9月23日(土)	病気や障害のある生活と看護	聖路加看護大学 東京	木下 幸代 聖隷クリストファー大学
12	2007年9月22日(土)	少子高齢社会を生きる力、支える力	聖路加看護大学 東京	太田喜久子 慶應義塾大学